

# CS72D/CS74D

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS72D/CS74D 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014 年 3 月 18 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。また、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける評価機貸出サービスが無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「ご購入前のお問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006 .....	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般 .....	5
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>10</b>
概要 .....	10
特長 .....	12
ハードウェア要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター .....	13
ケーブル .....	13
OS.....	14
製品各部名称 .....	15
CS72D フロントパネル .....	15
CS74D フロントパネル .....	15
CS72D リアパネル .....	16
CS74D リアパネル .....	16
CS72D/CS74D サイドパネル .....	17
<b>第2章 セットアップ方法.....</b>	<b>18</b>
ケーブルの接続方法.....	18
接続図 .....	20
<b>第3章 基本操作.....</b>	<b>21</b>
手動切替.....	21
マウスによるポート切替.....	21

ホットプラグ .....	22
ファームウェアアップグレード.....	22
電源 OFF と再起動 .....	22
第 4 章 ホットキー操作 .....	23
ホットキーセッティングモード .....	23
ポート切替 .....	23
ホットキーセッティングモードの代替起動キー .....	24
オートスキャン.....	24
ビデオダイナシンク.....	26
マウスエミュレーションコントロール .....	26
マウスによるポート切替.....	26
電源状態検知 .....	27
キーボード操作プラットフォーム .....	27
設定の一覧表示 .....	28
USB リセット.....	28
キーボード言語.....	28
デフォルト設定の復元 .....	29
ホットキーセッティングモード一覧表.....	30
第 5 章 キーボードエミュレーション .....	32
Mac キーボード.....	32
Sun キーボード .....	34
第 6 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ .....	35
作業を始める前に .....	35
アップグレードの開始.....	36
アップグレード成功.....	39
アップグレード失敗.....	40
付録.....	41
製品仕様.....	41
トラブルシューティング .....	43

## FCC

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設計されています。無断で本装置を変更または改良した場合は、ユーザーの本装置を操作する権利は無効とみなされます。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

# SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりする恐れがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートに修理を依頼してください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## 同梱品

---

CS72D/CS74D 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS72D/CS74D 2/4ポート USB DVI/オーディオ KVM スイッチ (スリムタイプ) ×1
- ◆ DVI シングルリンク KVM ケーブル (44ピン、1.2m、型番:LIN7-32W3-G11G) ×1
- ◆ DVI シングルリンク KVM ケーブル (44ピン、1.8m、型番:LIN7-32W3-G12G)\* ×1
- ◆ 電源アダプター\* ×1
- ◆ クイックスタートガイド ×1
- ◆ ユーザーマニュアル (英語) ×1

(\* CS74D のみに同梱)

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CS72D/CS74D に関するセットアップ方法、設定方法、操作方法についての情報が掲載されています。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章** はじめに: CS72D/CS74D を紹介します。特長、機能概要、および製品各部名称について説明します。
- 第2章** セットアップ: セットアップ方法や、そこで必要となる手順について説明します。
- 第3章** 基本操作: CS72D/CS74D の機能概要および操作方法について説明します。
- 第4章** ホットキー操作: CS72D/CS74D のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明します。
- 第5章** キーボードエミュレーション: PC 互換キーボードから Mac キーボードまたは Sun キーボードへのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。
- 第6章** ファームウェアアップグレードユーティリティ: CS72D/CS74D のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 付録** CS72D/CS74D の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[   ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ( , )を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

CS72D/CS74D は、1 箇所のコンソール (USB キーボード、USB マウス、DVI モニター) から 2/4 台のコンピューターを切り替えて操作できる、2/4 ポート DVI KVM スイッチです。本製品は、フラットパネルディスプレイやデータプロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタル TV 等のデジタルビデオデバイスに対応しています。

本製品はビデオダイナシク機能により、起動時のエラーを回避して最適な解像度で表示します。また、電源状態検知機能を搭載していますので、あるコンピューターの電源を OFF にすると、CS72D/CS74D は電源が入っている次のコンピューターへと自動的に切り替えます。

CS72D/CS74D はオーディオに対応しています。コンピューター間で 1 セットのスピーカーを共有して、各コンピューターのオーディオを切り替えて選択し、出力することができます。また、本製品の USB ポートに USB デバイスを接続すると、配下にあるコンピューターから、このデバイスにアクセスすることもできます。

セットアップは必要なケーブルを適切なポートに接続するだけなので、簡単で時間もかかりません。ソフトウェアの設定は不要ですので、定期的なアップグレードや互換性の問題に悩まされることもありません。CS72D/CS74D はキーボード入力をダイレクトに受信しますので、様々なプラットフォーム (PC x86、Macintosh PowerPC、および Oracle 社 SPARC(Sun)) のコンピューターを接続してお使いいただけます。

コンピューターへのアクセス方法には、本体のフロントパネルにあるプッシュボタンによるポート選択、キーボードからのホットキー入力、そしてマウスによるポート切替 (USB マウスのホイールをダブルクリックして切替) の 3 種類があります。

CS72D/CS74D の導入によって、作業時間の短縮やコストの削減が期待できます。CS72D/CS74D は 1 組のコンソールから製品配下のコンピューターを操作することができるので、コンピューターごとにコンソールを買い揃えるコストが省けます。また、こうしたコンポーネントを設置する必要がなくなるので、省スペースを実現し、光熱費の削減にも貢献し、操作するコンピュ

ーターに合わせて作業場所を移動する必要がなくなるというメリットがあります。

## 特長

---

- ◆ 1 コンソールから CS72D は 2 台、CS74D は 4 台の PC を切替操作 (コンソール、コンピューター共に USB & DVI-D 対応)
- ◆ DVI-D シングルリンク準拠
- ◆ 多機能マウスおよびワイヤレスマウス/キーボード対応<sup>※1</sup>
- ◆ オーディオ対応 - ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ対応
- ◆ 解像度 - 1,920×1,200@60Hz
- ◆ すべてのコンピューターをモニタリングできるオートスキャンモード機能
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows、Linux、Mac、Oracle 社 SPARC(Sun)
- ◆ HDCP 1.4 準拠
- ◆ 電源状態検知機能 - コンピューターの電源が OFF になると、電源が入っている方のコンピューターに自動切替
- ◆ ビデオダイナシング(ディスプレイエミュレーション) - コンソールモニターの EDID を保存し、解像度を最適化
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション/バイパス機能対応で、ほとんどのマウスドライバーと多機能マウスに対応
- ◆ コンピューター切替方法 - フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、マウス<sup>※2</sup>
- ◆ コンソールのマウスポートに USB2.0 ハブや USB 周辺機器が接続可能<sup>※3</sup>
- ◆ キーボードエミュレーション機能 - 選択されていないポートのコンピューターもエラーなく起動
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ Mac/Sun キーボードエミュレーション対応<sup>※4</sup>
- ◆ バスパワー駆動専用 (CS72D のみ)<sup>※5</sup>

- 
- 注意:**
1. 機種組み合わせによって、エミュレーションによる各機能がご利用頂けない事がございます。その場合はエミュレーションを無効にしてご利用ください。
  2. マウスによる切替は、マウスエミュレーション機能を有効にし、3 ボタン USB マウスを使用した場合にご利用いただけます。
  3. マウスエミュレーション機能を無効にする必要があります。
  4. PC/AT キーボードでもキーの組み合わせで Sun/Mac キーボードの特殊キー入力が可能。Sun/Mac 用キーボードは Sun/Mac コンピューターのみ使用可能です。
  5. CS72D を使用する際は、必ず各 PC 側に紫・黒のコネクターを接続してご利用ください。どちらか片方のみを接続した場合、動作しない恐れがあります。
-

## ハードウェア要件

---

### コンソール

- ◆ 接続されたコンピューターの解像度に対応した DVI モニター
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード
- ◆ スピーカー(オプション)

### コンピューター

製品に接続するコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ポート

---

**注意:** ディスプレイの品質は DVI ディスプレイカードの品質に左右されます。最高の状態でお使い頂くために、これらのディスプレイ関連のアイテムには高品質の製品を購入されることを推奨します。

---

- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

### ケーブル

- ◆ コンピューターを接続する際には、本製品用に設計された専用の DVI-D KVM ケーブル(1.2m の 44 ピンケーブル/1.8m の 44 ピンケーブル(後者は CS74D のみ))をお使いください。このケーブルは、CS72D には 1 本、CS74D には 2 本、それぞれ製品パッケージに同梱されています。

---

**注意:** 表示画質は、ケーブルの品質と長さに左右されます。ケーブルを追加で購入される際には、販売店までご連絡の上、お使いの KVM スイッチに適したケーブルをご確認ください。

---

- ◆ DVI モニター用の DVI ケーブル

## OS

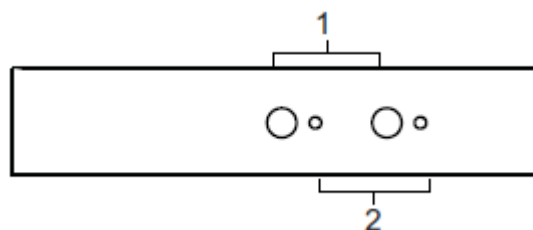
本製品の対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 / XP / 2003 / 2008 / Vista / X86 / X64 / 7 / 8
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 / 11.1 以降
	Mandriva (Mandrake)	Linux 2006 以降
	Debian	3.1 / 4.0
	Ubuntu	7.04 / 7.10
UNIX	FreeBSD	5.5 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Sun		Solaris 9 以降
Mac		OS 9～10.5

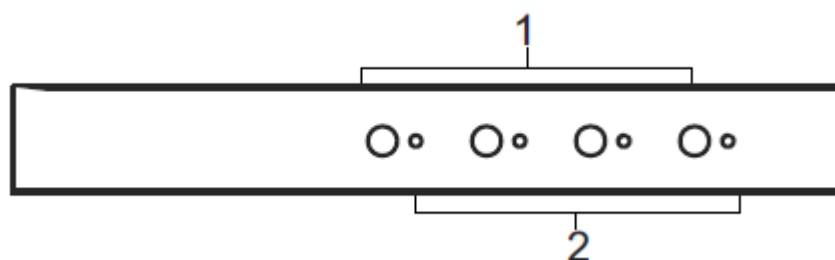
**注意:** Linux Kernel 2.6 以降に対応します。

## 製品各部名称

### CS72D フロントパネル

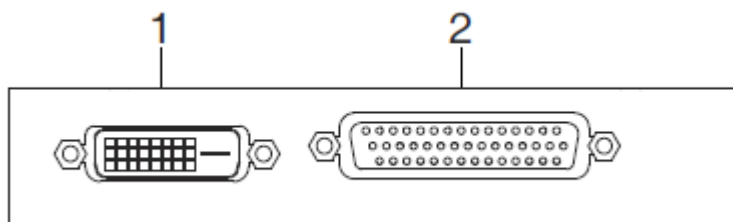


### CS74D フロントパネル

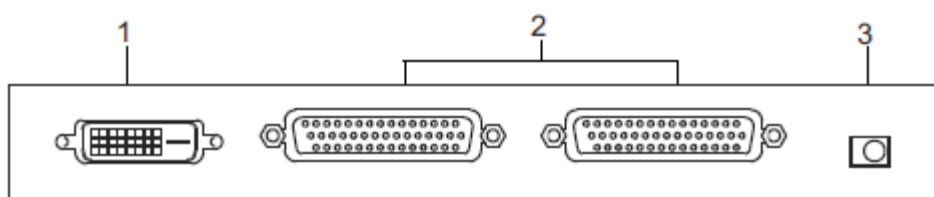


No.	名称	説明
1	ポート選択ボタン	手動でポートを選択するには、ポート選択ボタンを押すと、そのボタンに対応したポートに接続されているコンピューターに切り替えます。 詳細については、p.21「手動切替」をご参照ください。
2	ポート LED ランプ	このランプはポート選択ボタンに内蔵されています。 <ul style="list-style-type: none"><li>◆ LED ランプが点滅している場合は、点滅しているポートの PC へオートスキャンモード (p.24 参照) でアクセスされていることを表します。</li><li>◆ LED ランプが点灯している場合、そのポートに接続されたコンピューターで KVM 操作ができることを表します。</li><li>◆ 選択されていないポートの LED は OFF になっています。</li><li>◆ CS72D は 1・2 番ポート、CS74D は 3・4 番ポートが同じタイミングで点滅している場合は、ファームウェアアップグレードモードになっていることを示しています。</li></ul>

## CS72D リアパネル

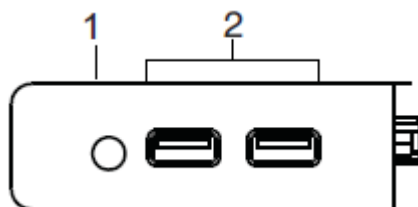


## CS74D リアパネル



No.	名称	説明
1	DVI コンソールポート	お使いの DVI モニターのケーブル部分をここに接続します。 <b>注意:</b> USB キーボードと USB マウスを接続するポートは、本体のサイドパネルに配置されています。
2	コンピューターポート	CS72D/CS74D とコンピューターを接続する KVM ケーブルをここに接続します。 <b>注意:</b> コンピューターは、そのコンピューターがどのポートに接続されているかで識別することができます CS72D では PC1/PC2、CS74D では PC1/PC2/PC3/PC4 とそれぞれ記載されています。
3	電源ジャック (CS74D のみ)	電源アダプターのケーブル部分をここに接続します。

## CS72D/CS74D サイドパネル



No.	名称	説明
1	オーディオポート	お使いのスピーカーのケーブル部分をここに接続します。
2	USB コンソールポート	お使いの USB キーボードと USB マウスのケーブル部分をここに接続します。 USB2.0 マウスポートには USB ハブを接続し、そこに USB デバイスを接続して使用することもできます(この場合、マウスエミュレーション機能を OFF にしてください)。この方法で USB デバイスを共有する場合は、セルフパワー型の USB ハブを接続し、給電を行う必要があります。

## 第2章 セットアップ方法



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

### ケーブルの接続方法

---

CS72D/CS74D をセットアップする場合は、下記の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. USB キーボードと USB マウスを、製品本体のサイドパネルにある **USB コンソール**ポートに接続してください。

---

**注意:**

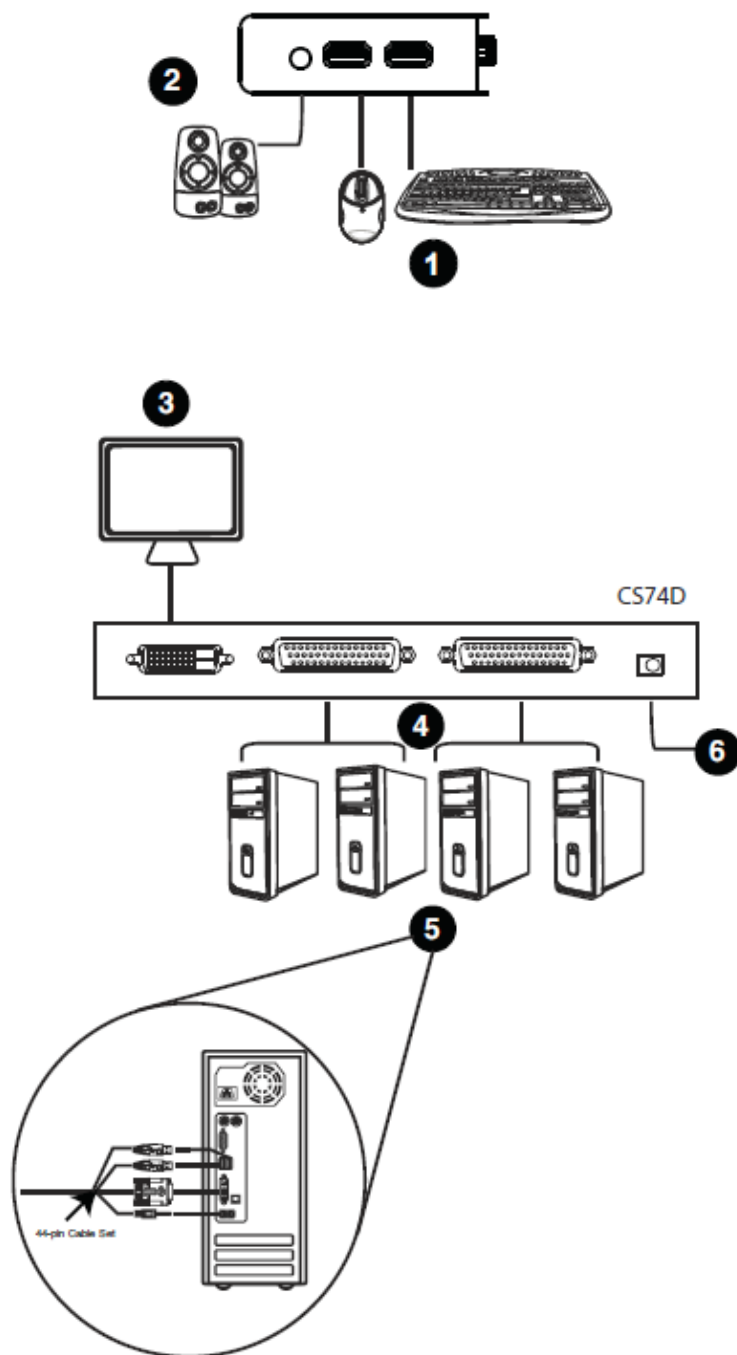
1. マウスエミュレーション機能を無効にして、USB マウスポートに他の USB デバイスを接続すると、そのデバイスをコンピューター間で共有することができます。その場合、マウスによる切替機能が利用できません。
2. CS72D/CS74D を PC と接続する時は、必ず紫と黒の USB コネクター両方とも接続してください。片方のみで接続した場合は、動作しない恐れがございます。

---

2. スピーカーを製品本体のサイドパネルにある**オーディオ**ポートに接続してください。
3. コンソールで使用する DVI モニターを、製品のリアパネルにある **DVI コンソール**ポートに接続したら、このモニターに電源を入れてください。
4. 本製品に同梱されている KVM ケーブルの 44ピンコネクターを、本製品の**コンピューター**ポートに接続してください。
5. この KVM ケーブルの反対側にある USB、DVI-D、およびスピーカーの各コネクターを、コンピューターの対応ポートにそれぞれ接続してください。

6. (CS74D のみ) 電源アダプターを電源コンセントに接続して、電源アダプターのケーブル部分を本製品の電源ジャックに接続してください。
7. コンピューターに電源を入れてください。

## 接続図



**注意:** 接続図では CS74D を例に挙げて、ケーブルの接続手順を説明しています。

# 第3章

## 基本操作

### 手動切替

---

接続されたコンピューターへアクセスする方法は、手動(本製品のフロントパネルにあるポート選択ボタンを押す)、マウス(USB マウスのマウスホイールをクリック)、キーボードからのホットキーの 3 種類の操作方法をご用意しております。ホットキーによるポートの選択方法は次章で詳しく説明します。

手動でポートを切り替える場合は、下記に従って操作してください。

- ◆ ポート選択ボタンを押すと、そのポートに接続されているコンピューターが選択されて、KVM 操作ができるようになります。
- ◆ オートスキャンモード(p.24 参照)が起動している時にポート選択ボタンを押すと、オートスキャンを停止します。このとき、KVM 操作は、その時に押したボタンに対応したポートに接続されたコンピューターで可能となります。

### マウスによるポート切替

---

CS72D/CS74D は、マウスによるポート切替に対応しています。これは、お使いの USB マウスのスクロールホイールをダブルクリックすることで、ポートを順番に切り替える操作です。

- 
- 注意:**
1. この切替方法は、コンソールに 3 ボタン USB スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
  2. デフォルトではこの機能は無効に設定されています。
  3. この切替方法は、マウスエミュレーション機能が有効になっている時に限りご利用いただけます。詳細については p.26「マウスエミュレーションコントロール」をご参照ください。
-

## ホットプラグ

---

CS72D/CS74D はホットプラグに対応しています。このため、デバイスの取り外しや取り付けは、ポートからケーブルを抜き差しするだけでよく、製品本体の電源を切る必要はありません。

## ファームウェアアップグレード

---

ファームウェアをアップグレードする手順については、p.35「ファームウェアアップグレードユーティリティー」を参照してください。以下は、ファームウェアアップグレード時における操作概要です。

1. フロントパネルにある**ポート 1** プッシュボタンを長押ししながら、製品本体に電源を入れてください。
2. フロントパネルの LED を確認してください。
  - ◆ CS72D では、フロントパネルにある LED が点滅していると、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表しています。
  - ◆ CS74D では、フロントパネルにあるポート 3 とポート 4 の LED が点灯していると、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表しています(このとき、ポート 1 とポート 2 の LED は OFF になっています)。
3. 画面に表示されている指示に従って、コマンドラインから手動でファームウェアをアップグレードしてください。

## 電源 OFF と再起動

---

CS72D/CS74D の電源を切る必要がある場合は、本製品の電源を入れる前に下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 本製品に接続されたコンピューターをすべてシャットダウンしてください。
2. 本製品に接続された電源アダプターを AC 電源から外してください(CS74D のみ)。
3. 10 秒ほど経過したら、手順 2 で取り外した電源アダプターを再度 AC 電源に接続してください(CS74D のみ)。
4. 本製品が起動したら、接続されているコンピューターの電源を入れてください。

# 第4章

## ホットキー操作

CS72D/CS74D は、KVM スイッチの操作や設定をキーボードから行うことができる、使いやすいホットキー機能を提供しています。

### ホットキーセッティングモード

すべてのホットキー操作は、いずれも[Scroll Lock]キーを2回押して開始します。この操作によってホットキーセッティングモード(HSM)が起動するので、そのあとにホットキーを押してから[Enter]キーを押すと、様々な操作を行うことができます。下表では、各ホットキーで実行できるアクションについて説明します。

**注意:** [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。詳細は p.24「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」をご参照ください。

### ポート切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM とオーディオ操作を、現在のポートから次のポートへと切り替えます。 CS72D: 1→2→1…
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [ポート ID] [Enter] (CS74D のみ)	CS72D: 1→2→3→4→1…  CS74D では、[ポート ID]の部分を、KVM とオーディオ操作を選択したいポート ID に置き換えて入力してください。  <b>注意:</b> KVM とオーディオが別々のポートで選択されていても、このホットキーを使用すると、両方が同じポートに切り替わります。

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [X](または[x])[Enter]	1. ホットキーセッティングモードを起動するキーを [Scroll Lock] [Scroll Lock] から [Ctrl] [Ctrl] に変更します。 2. この操作を再び行くと、[Scroll Lock] [Scroll Lock]の設定に戻します。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K](または[k])[Enter]	KVM 操作だけを、現在のポートから次のポートへと切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S](または[s])[Enter]	オーディオ操作だけを、現在のポートから次のポートへと切り替えます。

## ホットキーセッティングモードの代替起動キー

ポート切替を有効にするためにホットキーセッティングモードを起動するキーを、デフォルトの [Scroll Lock] キー2 度押し ([Scroll Lock] [Scroll Lock]) から、[Ctrl] キー2 度押し ([Ctrl] [Ctrl]) に変更することができます。ホットキーセッティングモードの代替キーに切り替える場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください (p.23 参照)。
2. [X] または [x] キーを押したら、[Enter] キーを押してください。

---

**注意:** この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元のホットキーセッティングモード起動キーに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して [X] キーを押してください。

---

## オートスキャン

オートスキャンは、一定の時間間隔で自動的にポートを切り替えて表示する機能です。この機能によって、手動でポートの切替操作をせずに、KVM スイッチに接続されたすべてのコンピューターの状態を監視することができます。このモードではビデオ出力はポートからポートへと切り替わっていきませんが、キーボードやマウス、および USB の選択は切り替わりません。これらはオートスキャンが開始したときに選択されていたポートにとどまったままとなります。詳細は下表をご参照ください。

**注意:** 映像ソースが DisplayPort から変換したり、HDCP コンテンツを出力したりしている場合は、規格上の理由により、3～5 秒以上表示に時間がかかることがあります。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] (または[a]) [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が <b>5 秒間隔</b> で切り替わります。デフォルト設定はこの 5 秒間隔となっています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] (または[a]) [Enter] [n]	<p>オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が <b>n 秒間隔</b>で切り替わります。</p> <p>このホットキーの <b>n</b> の部分には 1～4 の数字を入力してください。CS72D/CS74D でのオートスキャンの時間間隔は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1 = 3 秒間</li> <li>◆ 2 = 5 秒間 (デフォルト)</li> <li>◆ 3 = 10 秒間</li> <li>◆ 4 = 20 秒間</li> </ul> <p>オートスキャンを終了するには、本体ボタンを押すか、キーボードの[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。オートスキャンモードを終了すると、オートスキャンの処理も終了します。</p>

ポート切替のホットキーやホットキーセッティングモードを使用すると、マウスカーソルは、選択中のコンピューターのディスプレイにとどまったままとなります。

また、オートスキャンモード中は、通常のキーボード/マウス操作ができず、オートスキャンモードに対応したキー入力とマウスクリックのみが使用できます。通常のコンソール操作を行うには、([Esc]キーまたはスペースキーを押して)オートスキャンモードを中止してください。

## ビデオダイナシク

ビデオダイナシクは、ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時でも最適な解像度で表示できる ATEN 独自の技術です。モニターの EDID を手動で読み込んで記憶させるには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [D]または[d]キーを押したら、[Enter]キーを押してください。

---

**注意:** モニターを製品から取り外して、接続し直した場合、CS72D/CS74D はビデオダイナシク機能を再び実行します。

---

## マウスエミュレーションコントロール

この機能はデフォルトでは有効になっています。この機能を無効にするには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [M]または[m]キーを押したら、[Enter]キーを押してください。

この方法で繰り返し操作すると、設定を有効と無効の間で交互に切り替えます。再び有効にするには、もう一度この操作を行ってください。

## マウスによるポート切替

マウスによるポート切替機能は、マウスエミュレーション機能が有効な時に利用できる機能です。デフォルトでは無効になっています。この機能を有効にするには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [W]または[w]キーを押したら、[Enter]キーを押してください。

---

**注意:** この機能はマウスエミュレーションが有効になっているときにのみサポートされません。詳細については、上記の「マウスエミュレーションコントロール」をご参照ください。

---

## 電源状態検知

CS72D/CS74D は電源状態検知機能を搭載しているため、製品に接続されているコンピューターの DVI 出力が OFF になると、次に電源が入っているコンピューターへと自動的に切り替えます。この機能はデフォルトでは有効になっています。この機能を無効にするには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [E]または[e]キーを押したら、[Enter]キーを押してください。

この方法で繰り返し操作すると、設定を有効と無効の間で交互に切り替えます。再び有効にするには、もう一度この操作を行ってください。

---

**注意:** CS72D はこの検知機能を有効にした場合、USB によって給電し、起動した時点でポート 1 に、DVI 信号が入力されていない場合はポート 2 を選択します。

---

## キーボード操作プラットフォーム

CS72D/CS74D のデフォルトポートは、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、お使いのコンソールで PC 互換のキーボードを使用し、ポートには Mac のコンピューターを接続している場合、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更し、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションすることができます。操作手順は下記の通りです。

1. プラットフォームの設定対象となるポートで KVM 操作をしてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
3. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。この操作を終えると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2] [Enter]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.32 「Mac キーボード」をご参照ください。 キャンセルするには、次のホットキーを使用してください。 [Scroll Lock] [Scroll Lock] [F10] [Enter]

[F3] [Enter]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.34「Sun キーボード」をご参照ください。 キャンセルするには、次のホットキーを使用してください。 [Scroll Lock] [Scroll Lock] [F10] [Enter]
[F10] [Enter]	キーボード操作プラットフォームを自動的に検出して設定します。

---

**注意:** キーボード言語を設定するには、p.28「キーボード言語」をご参照ください。

---

キーボードエミュレーション機能は無効にできません。そのため、多機能キーボードやドライバーを要するキーボードがご利用できないことがあります。利用する場合は、マウスエミュレーションを無効化し、USB ハブ経由で接続してからご利用ください。

## 設定の一覧表示

CS72D/CS74D における現在の設定一覧を確認するには、下記の手順に従ってください。

1. テキストエディターかワープロソフトを開いて、ページ画面にカーソルを置いてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
3. [F4]キーを押した後、[Enter]キーを押して、設定を表示してください。

## USB リセット

USB が認識されなくなり、リセットが必要になった場合は、下記の手順に従ってください。疑似的に USB ケーブルを抜き挿しします。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [F5]キーを押した後、[Enter]キーを押してください。

## キーボード言語

キーボード言語を変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [F6] [nn] [Enter]キーを押してください。

---

**注意:** nn はキーボード言語を表す 2 桁の数字です。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)

---

## デフォルト設定の復元

CS72D/CS74D をリセットし、デフォルトのホットキー設定に戻す場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.23 参照)。
2. [R]または[r]キーを押したら、[Enter]キーを押してください。

詳細は下表をご参照ください。

## ホットキーセッティングモード一覧表

ホットキーセッティングモード(p.23 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。

ホットキー	機能
[X](または[x])[Enter]	ポート切替キーを、デフォルト([Scroll Lock][Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])で交互に切り替えます。
[K](または[k])[Enter]	KVM 操作だけを、現在のポートから次のポートへと切り替えます。
[S](または[s])[Enter]	オーディオ操作だけを、現在のポートから次のポートへと切り替えます。
[A](または[a])[Enter] [n]	<p>オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が n 秒間隔で切り替わります。</p> <p><b>注意:</b>このホットキーの n の部分には 1~4 の数字を入力してください。CS72D/CS74D でのオートスキャンの時間間隔は、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 1 = 3 秒間</li> <li>◆ 2 = 5 秒間 (デフォルト)</li> <li>◆ 3 = 10 秒間</li> <li>◆ 4 = 20 秒間</li> </ul> <p>オートスキャンを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。オートスキャンモードを終了すると、オートスキャンの処理も終了します。</p>
[D](または[d])[Enter]	ビデオダイナシンク機能を起動します。これはブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に最適な解像度で表示する ATEN 独自の技術です。
[M](または[m])[Enter]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[W](または[w])[Enter]	マウスによるポート切替機能を有効/無効にします。
マウスホイールの ダブルクリック	マウスによるポート切替が有効である場合、マウスのホイールをダブルクリックすると次のポートへ切り替えます。
[E](または[e])[Enter]	電源状態検知機能を有効/無効にします。









(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[F2] [Enter]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F3] [Enter]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。
[F10] [Enter]	キーボード操作プラットフォームを自動的に検出して設定します。
[F4] [Enter]	テキストエディターまたはワープロソフトを使用して、現在の設定を一覧表示します。
[F5] [Enter]	すべての USB デバイスでリセットを実行します。
[F6][mn][Enter]	キーボード言語を設定します。 <b>注意:</b> mn は 2 桁の数字で以下のキーボード言語コードを表します。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)
[R](または[r])[Enter]	ホットキーの設定をデフォルト値にリセットします。

# 第5章 キーボードエミュレーション

## Mac キーボード

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	左 Alt / Option
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15



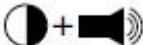




---

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

---

## Sun キーボード

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせることで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

# 第6章

## ファームウェアアップグレード ユーティリティ

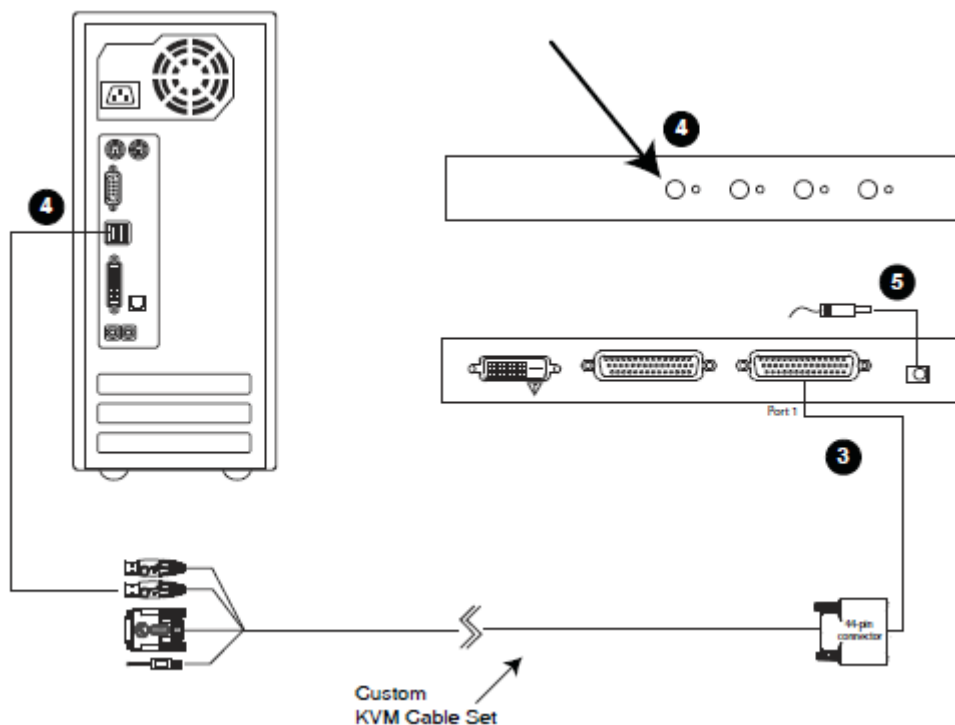
CS72D/CS74D のファームウェアのアップグレードを自動化するために、ファームウェアアップグレードユーティリティと呼ばれる Windows ベースの専用ツールを提供しています。このツールは各デバイスのファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。弊社 Web サイトに定期的にアクセスいただき、最新版のパッケージで製品のファームウェアをアップグレードしてください。

<http://www.aten.com/jp/ja/>

### 作業を始める前に

---

1. KVM スイッチに接続されていないコンピューターから弊社 Web サイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>) にアクセスし、CS72D/CS74D の最新ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページ右上に表示される「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. お使いのシステムから CS72D/CS74D を外し、製品本体の電源を切ってください。その後、KVM ケーブルの 44 ピンコネクタを、製品本体にある 44 ピンのコンピューターポート 1 に接続してください。



4. 製品本体のフロントパネルにあるポート 1 ボタンを長押ししたまま、PC1 の KVM ケーブルのキーボード用コネクタ (USB タイプ A) コネクタを、お使いのコンピューターの USB ポートに接続してください。

---

**注意:** 本体リアパネルにあるコンピューターポート 1 には、判別できるように名前が記載されています。PC1 ポートに取り付けられたケーブルを使用してください。

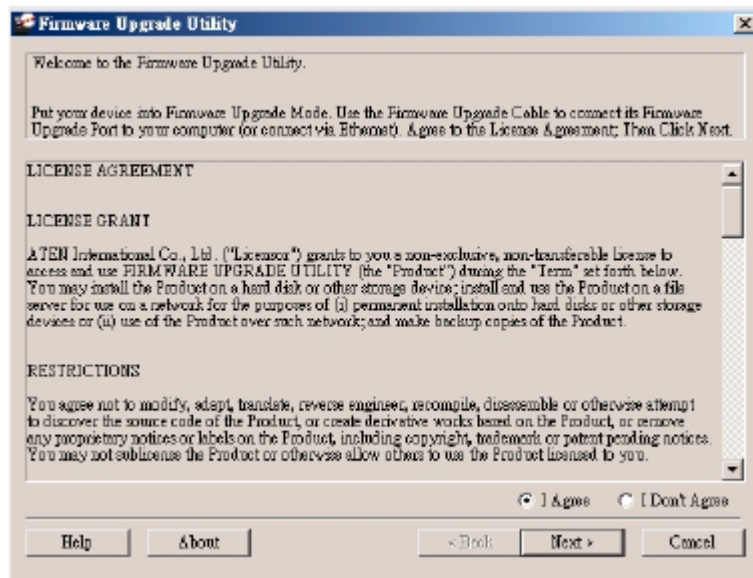
---

5. 製品本体に電源が入ったら、ポート 1 ボタンから指を離してください。
  - ◆ CS72D では、ファームウェアモードが有効になるとフロントパネルの LED が点滅します。
  - ◆ CS74D では、ファームウェアモードが有効になると、フロントパネルにあるポート 3 とポート 4 の LED が点灯状態になります (このとき、ポート 1 とポート 2 の LED は OFF になっています)。

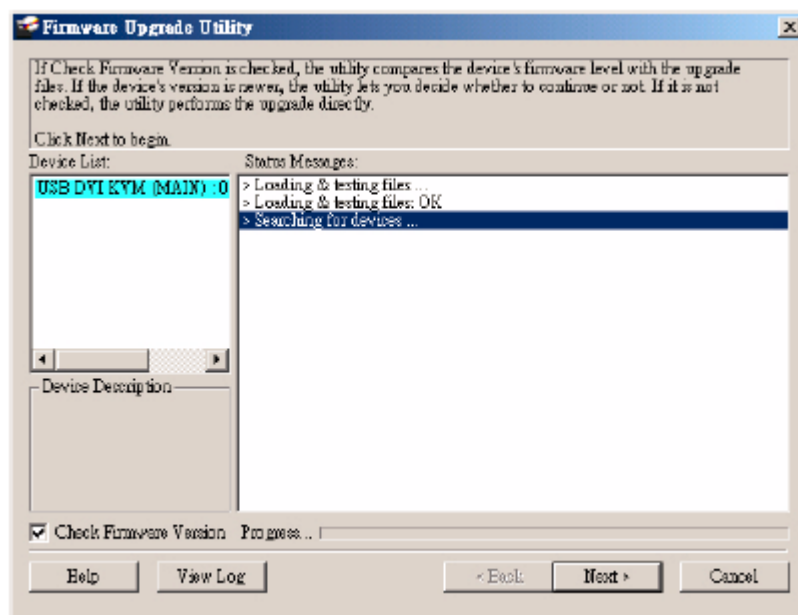
## アップグレードの開始

---

1. ダウンロード済のファームウェアアップグレードパッケージファイルのアイコンをダブルクリックして、パッケージを実行してください。「Firmware Upgrade Utility」(ファームウェアアップグレードユーティリティ)の初期画面が表示されます。
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」(同意する) ボタンを有効にしてください。

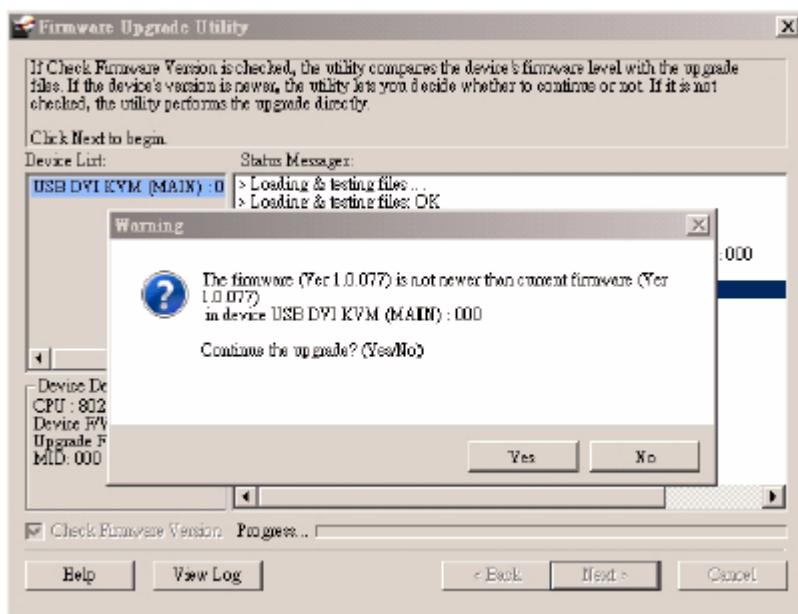


3. 「Next」(次へ) ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。このユーティリティはお使いのシステム構成を自動的に検出し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List」(デバイス一覧) パネルに一覧表示します。



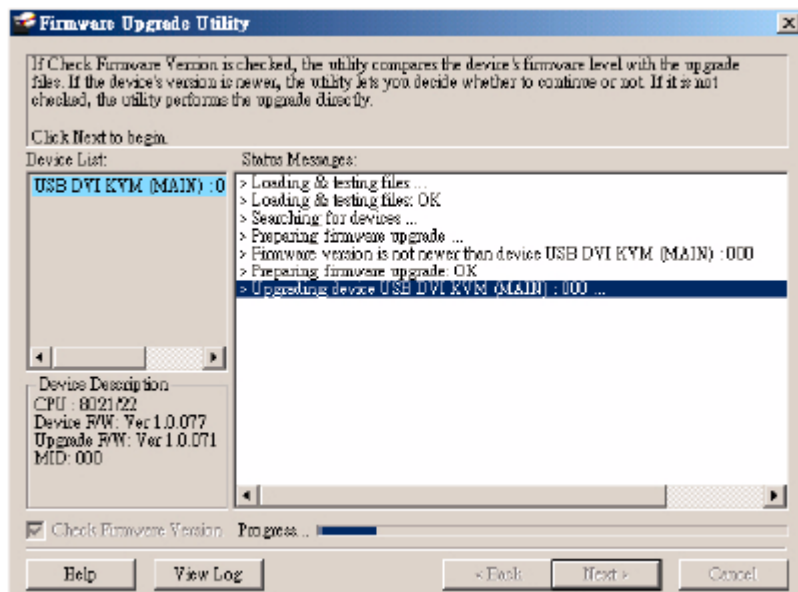
4. 一覧からデバイスを選択すると、このデバイスの説明が「Device Description」(デバイス詳細) パネルに表示されます。デバイスを選択したら、「Next」(次へ) ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。  
「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目を有効にすると、ユーティリティはデバイスとアップグレードファイルの間でファームウェアバージョンを比較し

ます。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合は、操作を続行するかキャンセルするかの選択を促すダイアログが表示されます。



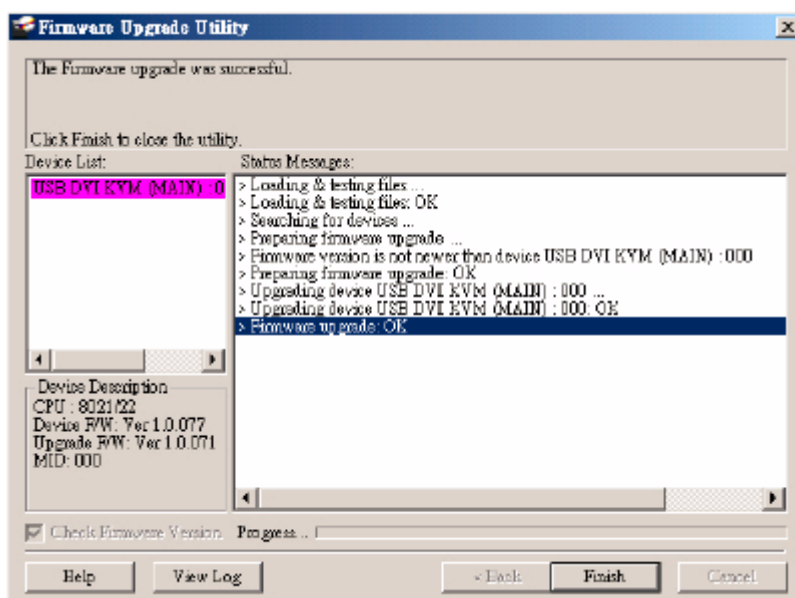
「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目を有効にしなかった場合、ユーティリティはバージョンの比較を行わずにアップグレードファイルのインストールを行います。

アップグレード処理の進行状況は「Status Message」(状態メッセージ)パネルに、また、完了までの進捗状況は「Progress」(プログレス)バーに、それぞれ表示されます。



## アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されて処理が成功したことを表します。



ファームウェアアップグレードユーティリティを終了する場合は、「**Finish**」(終了)ボタンをクリックしてください。

操作が成功すると、CS72D/CS74D はファームウェアアップグレードモードを終了して、リセットを行います。

## アップグレード失敗

---

「Upgrade Succeeded」(アップグレード成功)画面が表示されない場合、アップグレード失敗したことを表します。その場合は、下記の手順に従ってください。

1. PC の USB ポートまたは電源ジャックからケーブルを抜くことで CS72D/CS74D の電源を OFF にしてください。
2. 本体のフロントパネルにある**ポート1**のポート選択ボタンを押したままにして、CS72D/CS74D に電源を入れることで、ファームウェアアップグレードモードを起動してください(p.35 参照)。このときに、フロントパネルの LED ランプの状態を確認してください。LED の動作に関する詳細は p.36 に記載されています。
3. アップグレードをもう一度実行します。

# 付録

## 製品仕様

	CS72D	CS74D
コンピューター接続数	2	4
<b>コンソール接続数</b>		
ローカル	1	1
コンピューター側 対応インターフェース	USB	USB
コンソール側 対応インターフェース	USB	USB
ポート選択	ホットキー、プッシュボタン、マウス	ホットキー、プッシュボタン、マウス
<b>コネクタ</b>		
コンピューターポート 1	キーボード/マウス/モニター/スピーカー:44ピンコネクタ メス×1	キーボード/マウス/モニター/スピーカー:44ピンコネクタ メス×1
コンピューターポート 2	-	キーボード/マウス/モニター/スピーカー:44ピンコネクタ メス×1
コンソールポート	キーボード:USBタイプ A メス×1 マウス:USBタイプ A メス×1 モニター:DVI-D メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1	キーボード:USBタイプ A メス×1 マウス:USBタイプ A メス×1 モニター:DVI-D メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1
電源	-	DC 電源ジャック×1
<b>スイッチ</b>		
ポート選択	プッシュボタン×2	プッシュボタン×4
<b>LED</b>		
選択	グリーン×2	グリーン×4
<b>エミュレーション</b>		
キーボード/マウス	USB	USB
スキャンインターバル	3、5、10、20 秒(デフォルト 5 秒)	3、5、10、20 秒(デフォルト 5 秒)
電源供給モード	バスパワー駆動専用	セルフパワー専用

(表は次のページに続きます)

電源入力		
電源アダプター	-	型番:0AD8-0605-24MG 入力: AC100~240V 50/60Hz 出力: DC5.3V 2.4A
消費電力	5 W	5.3 W
解像度	1,920×1,200@60Hz、1,920×1,080(フル HD)	1,920×1,200@60Hz、1,920×1,080(フル HD)
動作環境		
動作温度	0~50°C	0~50°C
保管温度	-20~60°C	-20~60°C
湿度	0~80% RH、結露なきこと	0~80% RH、結露なきこと
ケース		
ケース材料	メタル	メタル
重量	0.33 kg ( 0.73 lb )	0.51 kg ( 1.12 lb )
サイズ(W×D×H)	125×82×25 mm	200×82×25 mm
同梱品	DVI シングルリンク KVM ケーブル (44 ピン、1.2m、型番: LIN7-32W3-G11G) ×1 クイックスタートガイド×1 ユーザーマニュアル(英語) ×1	DVI シングルリンク KVM ケーブル (44 ピン、1.2m、型番: LIN7-32W3-G11G) ×1 DVI シングルリンク KVM ケーブル (44 ピン、1.8m、型番: LIN7-32W3-G12G) ×1 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1 ユーザーマニュアル(英語) ×1
対応 KVM ケーブル	<<44 ピン DVI シングルリンク KVM ケーブル>> LIN7-32W3-G11G (1.2m) LIN7-32W3-G12G (1.8m)  * 標準で LIN7-32W3-G11G が 1 本付属しています。本ケーブルは非販売品であるため、有償修理での取り扱いになります。	<<44 ピン DVI シングルリンク KVM ケーブル>> LIN7-32W3-G11G (1.2m) LIN7-32W3-G12G (1.8m)  * 標準で LIN7-32W3-G11G が 1 本、LIN7-32W3-G12G が 1 本付属しています。本ケーブルは非販売品であるため、有償修理での取り扱いになります。

## トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

問題	考えられる原因	解決方法
動作に異常が見られる。	本体に十分給電されていない。	CS74D は DC5V の電源アダプターを使用されていない場合は、これを使用してください。既に電源アダプターをご使用の場合は、この電源アダプターがシステムの使用に適しており、本体に正しく接続されて動作していることを確認してください。CS72D は紫・黒の USB コネクタが PC に両方接続されているか確認してください。
	キーボードやマウスのリセットが必要	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて接続し直してください。また、ホットキーによる切替が可能であるにもかかわらず、PC の操作ができない場合は、p.28「USB リセット」で改善されるか確認してください。
	コンピューターと接続されていない。	本体とコンピューターをつなぐケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要。	使用している全てのデバイスの電源を切ってください。また KVM スイッチの電源も切り、5 秒程経過した後で電源を入れ直してください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要。	本体リアパネルの USB ポートから USB ケーブルを一旦抜いて接続し直してください。
		USB リセットのホットキー (p.28 参照) を使って USB ポートのリセットを行ってください。

(表は次のページに続きます。)

問題	考えられる原因	解決方法
[Scroll Lock]キーの2度押しのホットキーでポートの切替やホットキーセッティングモードの起動ができない。	キーボードが[Scroll Lock]キーによる起動に対応していない。	ポート切替の代替起動キーに切り替えてください。詳細は、p.24「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」をご参照ください。
KVM ケーブルをホットプラグした後でモニターに何も表示されなくなる	DVI グラフィックカードがケーブルのホットプラグに対応していない。	使用するデバイスの電源を全て切ってください (p.5 「安全にお使い頂くために」参照)。製品本体の電源を切って、すべての KVM ケーブルが正しく接続されていることを確認した後、製品本体の電源を入れ、コンピューターの電源を入れてください。
ポートを切り替えてもモニターに何も表示されない。	モニターが新しい、またはセットアップ後に初めて使用する。	ポートをもう一度切り替えて、PC の EDID 情報がモニターに送信されるまで 2 秒以上待機してください。
	ポート切替時に PC の EDID 情報がモニターに送られない。	[D]ホットキーを使用してビデオダイナシンクをもう一度起動するか、別の PC に切り替えて製品本体に再接続してください。詳細は、p.30 「ホットキーセッティングモード一覧表」をご参照ください。
ポートを切り替えると、数秒ほど遅延しないと変更が反映されない。	キーボードエミュレーション機能が無効になっている。	[F10]ホットキーを使用して、キーボードエミュレーション機能を有効にしてください。詳細は、p.30 「ホットキーセッティングモード一覧表」をご参照ください。
マウスホイールを使って2つ先のポート(例:ポート1からポート3)に切り替えると、切り替えられないことがある。	本体側でマウス入力処理に時間がかかっている。	ポート切替を行ったら 3~4 秒ほど待つってから、次のポートに切り替えるようにしてください。